



新しい姫路のまちづくり

JR山陽本線等姫路駅付近 連続立体交差事業



兵庫県・姫路市

姫路のまちが、生まれ変わる。

安全で安心

数多くの踏切が同時に除却されるため、踏切事故、踏切遮断による交通渋滞が解消できます。



都市が再生

都市計画道路や土地区画整理事業などの整備により、都市の再生と活性が図られます。



快適な生活

駅が新しくなり、エスカレーターやエレベーターを含む駅施設が整備され、だれもが利用しやすくなって、乗降客へのサービスの向上がはかられます。



地域分断が解消

鉄道により、分断されていた市街地の一体化を図ることができます。



事業の早期完成に向けて取り組んでいます

JR山陽本線等連続立体交差事業は、平成9年度に東部工区の高架化が完成しており、残っている工区の早期完成を目指して事業を進めています。

この事業は、鉄道を高架にして新しく鉄道と立体交差する平面道路を整備するものです。事業が完成すれば、道路網整備及び踏切除却による交通の円滑化と共に、南北に分断されていた市街地の一体化が図られるという効果があり、新しい短路のまちづくりを担うビッグプロジェクトとして期待されています。

整備の
ポイント

山陽電鉄線の移設工事

JR線を高架するためには、現在JR線の上を交差して走っている山陽電鉄線の移設が必要です。そこで山陽電鉄線を、JR播但線の日飾倉線跡地を利用して現在の山陽姫路駅へつながる新しいルートに切り替える移設工事を進めています。この移設工事は、列車の運行をできるだけ妨げないようにとJR山陽本線と同時に山陽電鉄線を切り替えることとして、JR線の高架工事と連携して進めています。また、山陽電鉄線は移設に伴うレール移動が駅部まで達しているために、駅部においても既存の高架構造物の補強が必要になっています。

山陽電鉄線を切り替えるときには、JR線との交差部分で仮橋を架ける工事、駅部の大規模な軌道工事と飾磨方で軌道切替工事がおこなわれます。



連続立体
交差事業の
あゆみ

昭和48年7月 国鉄高架化基本構想発表

昭和59年10月 播但線1期高架完成(京口駅～野里駅間)

昭和61年11月 播但線 姫路駅～飾磨港駅間廃止

昭和62年2月 都市計画決定告示(都市計画道路、都市高速鉄道、土地区画整理事業)

昭和63年3月 ※都市拠点整備事業(キャストィ21)の総合整備計画建設大臣承認

平成元年3月 JR山陽本線等連続立体交差及び交差道路の事業認可

平成元年5

平成2年12

平成4年9

平成6年3

平成7年2

平成9年4

整備のポイント

JR山陽本線の高架切替

JR山陽本線を高架に切替えるときには、山陽電鉄線との交差箇所、新幹線踏切の踏切化、駅前広場の高架軌道へのレール切替、さらに山陽電鉄線を新しい軌道に切り替える工事が一斉に行われます。



整備のポイント

交通道路の整備



高架になるJR線と立派な交差する内宮前線と新電川線を4車線道路に拡張計画します。新しく地平面の道路を整備するので、JR線を跨いでいる「大塚車線」「新白橋」はいずれ不要になってしまいます。JR新線とJR旧線を高架にするまでは数週との交差をせざるを得ないので、この2つの街路の拡張工事は、高架切替後にレールが撤去されてからになります。



整備のポイント

JR姫新線の盤下げ工事

JR姫新線は、新しく高架をつくるスペースが限られる駅間交差箇所が数箇所あり、現在のJR山陽本線以上に計画されています。この部分については、JR山陽本線を高架に切り替えてから高架工事に取りかかることになるので、JR姫新線も、JR山陽本線と同じ軌道に切り替えることは出来ません。そこで、JR姫新線がそのままであると、JR山陽本線との入れ替わりを要することに、山陽電鉄線に衝突してしまいます。そこで、JR姫新線と山陽電鉄線の切替をこのようにして下を渡らせることにしました。この工事のことを「JR姫新線の盤下げ工事」と呼んでいます。この工事は、別項で述べている

高架を最大約30m盛り下げるので、ここで十分なスペースを確保できないために工事を優先すると列車運行が滞ります。このために、駅の駅前道路を最大約10m盛り下げる工事を先行して行われ、盤下げをするには長期間を要することにしています。



整備のポイント

JR姫新線・JR播但線の高架切替



駅間とJR新幹線交差点で高架スペースが不足しているために、現在橋より計画されているJR播但線とJR播但線が現在のJR山陽本線以上に架かってしまいます。JR山陽本線が高架に切り替わってからのこの部分の工事に切りかかるので、JR姫新線とJR播但線が高架に切り替わるのは2年ぶりになります。

平成10年
平成11年
平成12年
平成13年
平成14年

- ◎新幹線周辺土地高度調整事業認可
- JR山陽本線等連続立体交差事業工事基本決定締結
- 本線高架側道1号線事業認可
- 別所貨物基地・駒形車両基地開発
- JR山陽本線高架工事着工
- 東部高架区間下り線開通

- 平成9年9月 東部高架区間上り線開通
- 平成10年2月 ※都市計画道路大日経・阿保線 高架部供用開始
- 平成10年3月 ※都市計画道路市之輪線 高架部供用開始
- 平成10年3月 ※貨物基地跡地利用開始
- 平成12年9月 西部高架区間の架線切替完了
- 平成13年9月 本線高架側道1号線認可変更

- 平成14年10月 山陽電鉄線一部移設工事基本協定締結
- 平成15年3月 JR山陽本線等連続立体交差事業及び交通道路の認可変更
- 平成15年9月 大塚車線仮設道路切替
- 平成16年4月 朝日橋仮設道路切替

※平成17年開通予定

連続立体交差事業の概要

区間
JR山陽本線：市川古岸～中央南北幹線 約4.3km
JR播但線：新所 駅取付付付 約1.0km
JR姫新線：加路 駅取付付付 約1.3km

新築駅舎
面積：約59,000㎡ ホール：2面
路線数：7線 留置線数：4線

整備の
ポイント

「大將軍橋」「朝日橋」の仮設道路

現在の「大將軍橋」「朝日橋」は、姫路駅付近でJR線を跨いで南北を結ぶ交通の要衝になっていて、両橋をあわせると一日に約5万台の自動車が行き交っています。この2つの橋を高架工事で撤去することになるのですが、このことで南北交通が途絶えてしまわないように、仮設道路を整備して事業期間中も交通を確保しています。

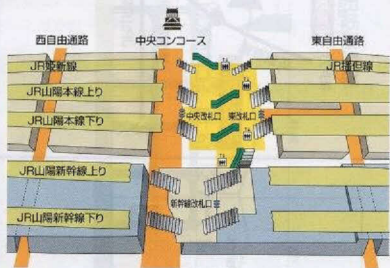


整備の
ポイント

新しいJR姫路駅

JR姫路駅は、この事業で新しく高架下に整備されます。新しい駅は、JR山陽本線高架下部分だけで暫定開業しますが、JR姫新線・播但線の高架下が利用できるになれば、改札口に通じる中央コンコースで駅の北と南がつながります。また、新幹線の乗り降りは、新しい駅の暫定開業と同時に中央コンコースの改札口へ切り替わります。

新しい駅の構内は、改札から各ホームまでの間にエレベーターとエスカレーター（上下方向）が整備されるなど、誰もが利用しやすい駅へと生まれ変わります。



貨物設備等

約4.3km 貨物基地:別所地区へ移設 約7.8ha

約1.0km 車両基地:飾西地区へ移設 約2.9ha

約1.3km 播磨高岡駅に行違い設備 一式

事業期間

平成元年3月～平成23年3月

山陽電鉄線

現在線付近切り下げ:約0.9km

踏切除去数

7ヶ所

総事業費

約609億円

交差道路整備

船場川線:538m

内環状東線:255m

側道整備

本線高架側道1号線:582m

姫路駅周辺整備について

【兵庫西部の拠点にふさわしい姫路のまちづくり】

人々が集い楽しめ、都市機能も高度に集積した播磨地域の玄関口としてふさわしい姫路駅周辺の整備を進めています。連続立体交差事業にあわせて、姫路市でも土地区画整理事業や駅周辺の道路整備、新たな都市拠点施設の整備が一体的に行われていて、にぎわいとうるおいにあふれた交流都心の形成をはかるキャスト21計画が進められています。

都市交通の円滑化と地域分断解消	連続立体交差事業
総合的な都市基盤整備	土地区画整理事業
都市交通体系の確保	街路事業(道路整備)
都市拠点施設の整備	道路交通環境改善促進事業 まちづくり交付金

にぎわいとうるおいにあふれた交流都心の形成 **キャスト21計画**

【環状道路網の整備】

姫路駅周辺都心地区を中心として同心円状に市街地が広がると共に、さらに市域外の播磨地域からの流出入交通が多くなっています。中心部に集中する交通の円滑な処理、秩序ある市街地の形成のために、放射道路に加えて環状道路網の整備が必要です。JR山陽本線等姫路駅付近連続立体交差事業では、このうち姫路駅を中心とした都心ブロックに計画された内環状網の南北軸である「船場川線」「内環状東線」の2本の都市計画道路の整備をしています。

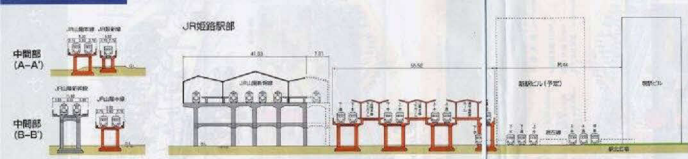


お問合せ

兵庫県中播磨県民局 姫路土木事務所 鉄道高架・播磨空港対策室 TEL (0792) 81-9548
<http://web.pref.hyogo.jp/nakaharima/kendoseibi/index.html>

姫路市 都市整備局 高架事業推進室 TEL (0792) 21-2586
<http://www.city.himeji.hyogo.jp/kouka/index.html>

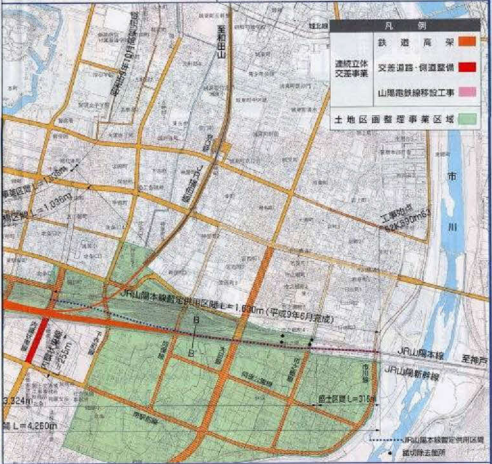
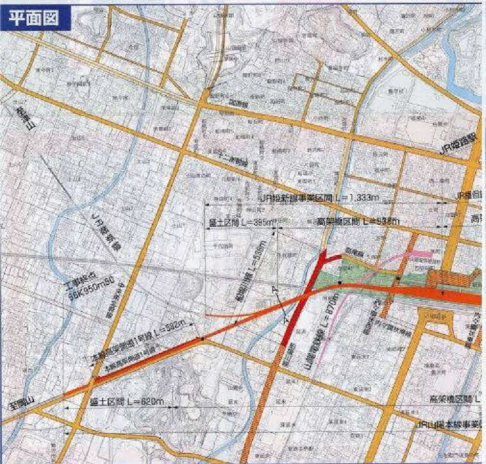
高架橋断面図



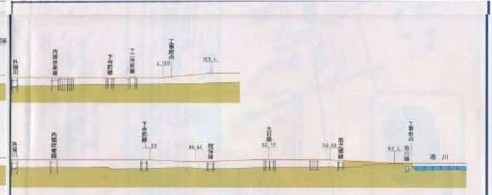
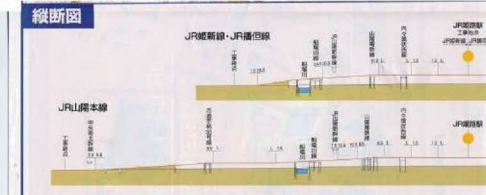
貨物基地・車両基地等移設



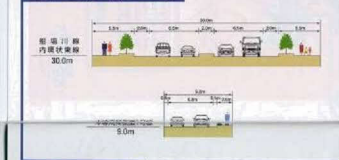
平面図



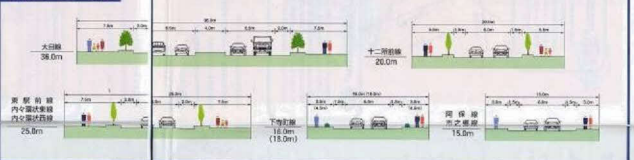
縦断面図



交差道路・側道整備



関連道路整備



短路駅中心部



土地区画整理事業計画図

